

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 九州地盤コンサルタント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		経営理念を全社員に周知しようと明文化し、社員に掲示するとともに、毎朝の朝礼時に会社の基本理念、方針、社訓を唱和し共有しています。												8	9								17																
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令遵守に関する資料はサインペンで強調して、理解を促しています。																						16															
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		管理職がフェアな価格(建設業法や独占禁止法に則った)であるか確認し、不当な値引きがないかチェックをしております。取引業者へ不当な圧力を与えないように、コミュニケーションをとり、公正な基準のもと選定、発注が出来るように企業活動を行っています。																		10				16															
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		管理職が品質、安全管理の窓口となり、社内体制図(組織連絡票)を策定し、自らの事業活動が社会に良い影響、悪い影響を及ぼすかを把握しています。																						16															
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		知的財産の保護に関して、弁理士や専門家への報告、相談、連絡をするように、社員へ周知し、リスク確認体制に努めています。サーバーと社員が使用するPCにウイルス対策ソフトを導入しており、他人に知られて模倣盗用されないようにしています。												8.2 8.3	9																								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		管理職が個人情報の書類を管理し、簡単に持ち出しができないように鍵付きのキャビネットを設置し、情報漏洩防止に徹底している。今後は、【予定】定期的に個人情報の取扱いについての研修会を行っていきます。(令和5年3月まで)																						16															
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		顧客からの意見を大切に、お互いのコミュニケーションをとれるように定期的に訪問、連絡をしています。発注者、取引業者との綿密な打ち合わせや調整を行い、文書やデータとして残り、工事の品質向上、納期の厳守、安全管理の徹底を目指しています。																					16	17															
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5							8		10			12	13	14	15	16	17															
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																						9		11	13.1				16	17									
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●														8		9														17									
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2					5		8						12	13	14	15	16				17									
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などの雇用条件で差別をしない職場環境を整備し、その運用に管理職が積極的に関与しています。社長を相談窓口として、差別やハラスメントに関する指導もしています。											4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5												8.5 8.7 8.8			10.2 10.3		16.1 16.2 16.7								
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		現場からの要望(休日出勤や時間外労働の早期連絡、休日の確保)に応えるように、管理職が、勤務体制の管理、休日出勤や時間外労働時間を減らす取組をしています。労働災害事故の未然防止のため、朝礼時に安全点呼を行っています。							3																8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を、社労士事務所より教授いただき、内容を理解して同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備を行い、社員の能力とやる気を最大限に生かせるように公正な待遇を行っています。																								8.5			10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		データ処理ソフトの導入により、仕事の効率化に努め、働き方改革を実現しています。子供がいる家庭の学校行事参加も奨励しております。																											8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		県、建設技術センターで開催される研修等へ、適任の社員を派遣しています。													4	5.5									8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		労働時間の短縮や、週休二日試行工事の受注等の、働き方改革を取り入れるようにし、社員が家庭と仕事を両立できるように、積極的に有給休暇の取得を奨励しています。																								8					17								
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		本人の希望と適性に応じた場を提供するように努めています。																									8.5			10.2 10.3		16.7							
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		来客時には、換気消毒を徹底して行い、工事現場では、最低限の人の距離をとるソーシャルディスタンスの指導をしています。感染拡大時には、テレワークの推奨を促し、WEBでのセミナーや講習会を受講させています。																							3				8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●																													8	9.1			11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																														3	4				8	9			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 九州地盤コンサルタント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		廃材、空き缶、ペットボトル等は、分別を行い、再生資源業者に運搬してリサイクルをしています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		社用車は給油管理を行っています。エアコン設定温度などの節電にも取り組んでいます。【予定】今後、熊本県の簡易計算シートをもとにエネルギー使用量等を計算し把握して、エネルギー使用量の削減に取り組んでいきます。(令和5年3月まで)							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】令和5年3月までに簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を把握して排出の抑制に努めていきます。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		環境に与える影響が最小限になるよう、社内の燃えるゴミ、プラスチック製品、ペットボトルのキャップ等の分別を徹底し、弁当ごみは水洗いをし、ペットボトルも水洗いし、ラベルは剥がし、再利用ができるように心掛けています。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		古紙など、リサイクル業者へ出すように心がけています。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		こまめに水道を止水し、節水に取り組んでいます。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生用紙の利用を促進しています。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2			6.4								12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所敷地内に樹木や花を植栽しており、庭木・緑の創出、四季折々を楽しむ花の管理に社員一同で取り組んでいます。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		植林等の森林整備活動に参加するようにしています。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 九州地盤コンサルタント

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 「予定」の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		現場ごとにリスクの芽を事前に摘み取る活動、予防処置を積極的に実施しています。業務着工前には高度な専門知識を有する技術者による現場検討会を開催し、業務成功に向け検討会、会議を繰り返し実施しています。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		会社建物の段差をスローププレートや段差ステップを利用してなくし、社員がけがをせず、安全にすごせるように整備しています。									9.1	10	11.7							17
	39	【地域資源】 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	熊本県産標準砂等の原材料を優先的に購買しています。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本県内のイベント(熊本県地質業協会の健軍川清掃活動、法人会女性部会にて各小学校へ税金に関する勉強会。)に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事務所に災害備品、防災グッズの備蓄をしています。社員に熊本市HPのハザードマップの確認をもらい、自然災害や緊急事態時の対応手順を周知しています。				4						11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	国交省との災害協定を結んでおり、要請があったら行動できるようにしています。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	朝礼時、社内会議の場において、自社のSDGs取組みの研修会を行い意識共有をしています。発注者や取引業者とSDGsの取組みの情報を交換共有し、普及啓発をしています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 「予定」の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。